

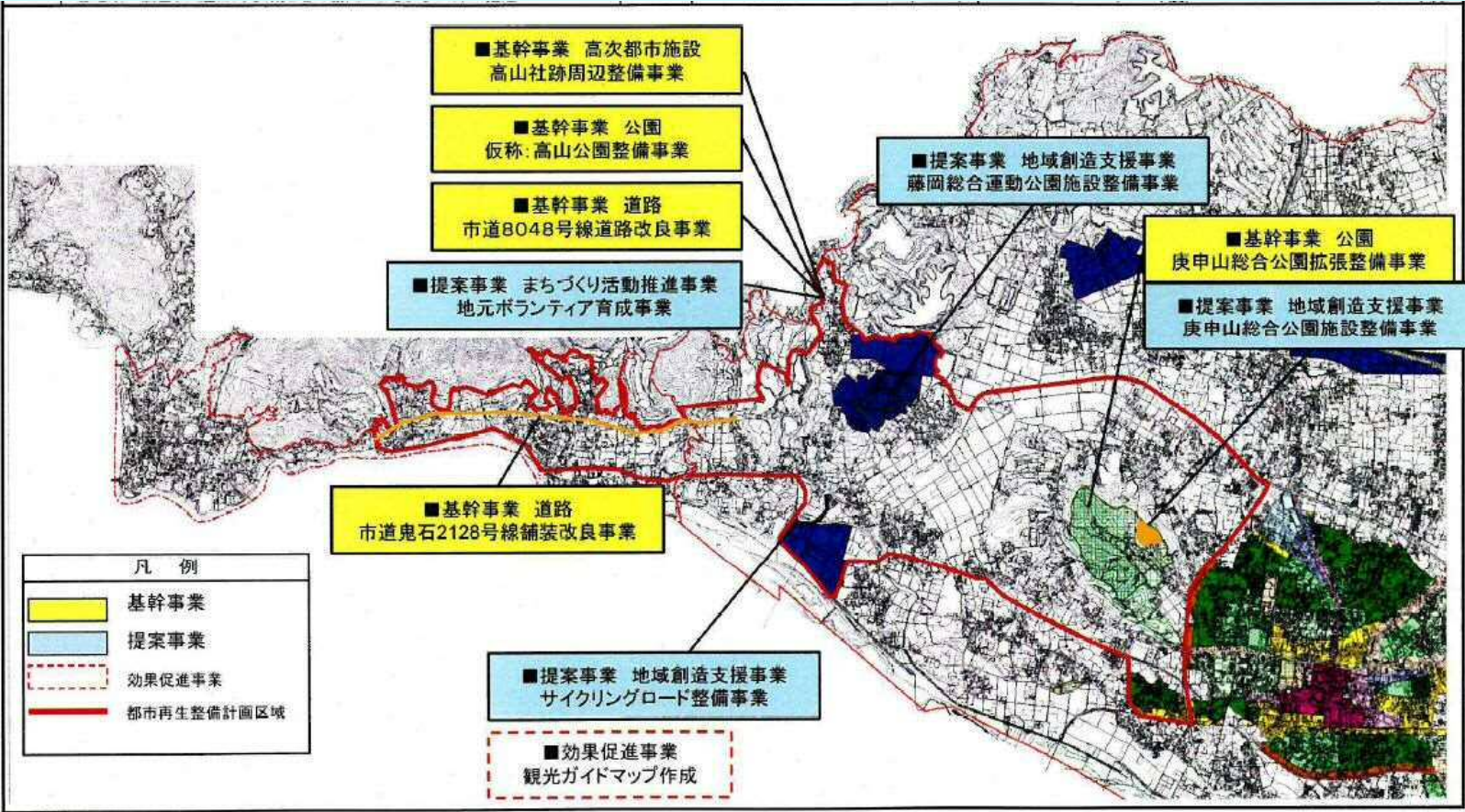
藤岡南部地区 都市再生整備計画事業
事後評価シート

平成31年3月
群馬県 藤岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	藤岡市	地区名	藤岡南部地区			面積	950ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	H30	交付対象事業費	846百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 道路:市道鬼石2128号線舗装改良事業 公園:庚申山総合公園拡張整備事業 地域生活基盤施設:高山社跡周辺整備事業								
		提案事業	地域創造支援事業:庚申山総合公園施設整備事業 地域創造支援事業:藤岡総合運動公園施設整備事業 地域創造支援事業:サイクリングロード整備事業 まちづくり活動推進事業:地元ボランティア育成事業								
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	地域生活基盤施設:高山社跡周辺整備事業			富岡製糸場の世界遺産登録に向け、当初の駐車場や広場に加え、 関連遺産である高山社跡の体験学習施設を整備することになり、高 次都市施設として事業を行うことになったため。		指標への影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。			
		提案事業	なし			—		—			
	新たに追加し た事業	基幹事業	高次都市施設:高山社跡周辺整備事業 道路:市道8048号線道路改良事業 公園:仮称:高山公園整備事業			富岡製糸場の世界遺産登録に向け、当初の駐車場や広場に加え、 関連遺産である高山社跡の体験学習施設を整備することになり、高 次都市施設として事業を行うことになったため。		指標への影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。			
		提案事業	なし			—		—			
	交付期間 の変更	当 初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響	なし					
変 更		なし									
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	都市公園利用者数	人	141,524 H23	154,100 H29	148,600	163,816	○	あり なし	庚申山総合公園拡張整備や藤岡総合運動 公園施設整備により、既存の公園の利便性 が向上し、地域内外の交流に寄与してい る。	
	指標2	観光施設利用者数	人	1,783 H23	4,500 H29	36,400	19,328	○	あり なし	高山社跡が世界遺産登録されたことにより 観光客が増加したことが指標改善の直接的 要因である。	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1										
4)定性的な効果 発現状況	・高山社跡が世界遺産登録されたことにより周辺地域を含めた広域的な観光振興に向けた取組が進められている。 ・自転車を利用して高山社跡へ訪れる人が増加している。 ・県立女子大生がFacebookで高山社跡の投稿をし、集客につながっている。 ・市内の観光周遊を促進するため、ららん藤岡を中心にした周遊コースを8コース設定し、パンフレットを作成した。(藤岡の桜の名所をめぐる旅、ぐんま絹遺産をめぐる旅、鬼石めぐり旅、家族で満喫体験コース他)										
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	都市公園利用者数、観光施設利用者数等について実績を過年度検討 報告書の内容から確認。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	中間評価結果を基に都市再生整備計画の見直しを行い、引き続き事業を 推進する。	
	住民参加 プロセス	・高山社の周辺整備にあたり、地元の代表も加わっている高山社整備 委員会から意見を聞き、整備内容に反映した。 ・庚申山総合公園の拡張整備事業にあたり、日本野鳥の会から意見を 聞き、整備内容に反映した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	・都市再生整備計画以外で高山社周辺整備は残っており、引き続き協議を 進めていく。 ・今後も適切な維持管理を行い、引き続き協議を進めていく。	
	持続的なまちづくり 体制の構築	・高山社跡をPRするため、道の駅ららん藤岡でのパネル展示や勉強会 の開催、会報作成等の活動を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	活動が活発になってきていることから、引き続き活動支援を行っていく。	
	持続的なまちづくり 体制の構築	・高山社周辺の環境維持、保全のため、地元組織が定期的な除草や清 掃活動を行った。 ・群馬医療福祉大学の講座を利用したボランティアの養成を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	・世界遺産周辺の環境を守るため、継続的な活動への取組を推進する。 ・県内の大学への働きかけを通じた学生ボランティアの募集を継続的に 行っていく。	

様式2-2 地区の概要

藤岡南部地区(群馬県藤岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
大目標: 人が集うまちづくり ①緑を活かしたレクリエーションや健康増進による交流拠点まちづくりの推進 ②地域に根差した魅力的な観光地の創出によるまちづくりの推進		都市公園利用者数	単位: 人	141,524	H23年度	154,100	H29年度	163,816
		観光施設利用者数	単位: 人	1,783	H23年度	4,500	H29年度	19,328
								
まちの課題の変化	・都市公園利用者の維持や更なる増加に向けて、今回整備を行ったサイクリングロードの更なる活用やPR、また既存施設を活用した更なる利用拡大に向けた取組が求められる。 ・観光客の増加、拠点間のネットワーク強化や他市町村との連携による周遊型観光の振興が求められるとともに、外国人観光客対策として案内表示や解説ボランティアの多言語対応が必要である。 ・地元ボランティアの継続や観光ガイドマップの更新に加え、高山社跡が持つ本質的な価値や市内の資源を掘り起こし、地域の更なる魅力向上やシンビックブライドの醸成を図っていくことが求められる。							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・都市公園等を活用した通年の観光・健康・交流イベントを開催し、都市公園利用者数を図る。 ・高山社跡の復元作業や歴史的景観に配慮した環境整備を行い、観光施設利用者数の維持・拡大を図る。 ・解説ボランティアの活動や、観光ガイドマップの配布を継続し、地域主体によるボランティア活動や情報発信の持続を図る。 [その他ソフト施策] ・サイクリングロードを活用したイベントの開催、施設整備が図られた都市公園のPR、周遊観光の促進、高山社跡を中心とした資源を活用した多種多様な世代の連携による地域の魅力向上 等							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道鬼石2128号線舗装改良事業	150	L=4.3km	154	L=4.3km	事業実施による精査に伴い、事業費が150百万円から154百万円へ増加した。(第4回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	市道8048号線道路改良事業	—	—	95	L=0.03km	計画変更して追加した。(第1回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
公園	庚申山総合公園拡張整備事業	330	A=3.0ha	196	A=3.0ha	事業実施による精査に伴い、事業費が330百万円から196百万円へ減少した。(第4回変更)	指標1(都市公園利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
公園	仮称:高山公園整備事業	—	—	110	A=1.3ha	計画変更して追加した。(第1回変更)	指標1(都市公園利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	高山社跡周辺整備事業	200	A=0.8ha	—	—	計画変更して削除した。(第1回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設	高山社跡周辺整備事業	—	—	111	A=0.2ha	計画変更して追加した。(第1回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	庚申山総合公園施設整備事業	25	A=40.5ha	12	A=40.5ha	事業実施による精査に伴い、事業費が25百万円から12百万円へ減少した。(第4回変更)	指標1(都市公園利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	藤岡総合運動公園施設整備事業	70	1箇所	88	1箇所	事業実施による精査に伴い、事業費が70百万円から88百万円へ増加した。(第3回変更)	指標1(都市公園利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
	サイクリングロード整備事業	43	L=700m	77	L=700 m	事業実施による精査に伴い、事業費が43百万円から77百万円へ増加した。(第4回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	地元ボランティア育成事業	4	—	3	—	事業実施による精査に伴い、事業費が4百万円から3百万円へ減少した。(第3回変更)	指標2(観光施設利用者数)には関連するが、影響が小さいため、指標及び数値目標は据え置く。	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
		当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
観光ガイドマップ作成	藤岡市内	5	5	H25年度～H27年度	H25年度～H27年度	完了	

添付様式2ー① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	都市公園利用者数	人	庁内資料により、地区内の都市公園3箇所(ふじの咲く丘、ふじふれあい館、藤岡市民球場)の合計利用者数を算出する。			141,524	H23	154,100	H29	モニタリング	148,600	H27	モニタリング	△		
										事後評価	確定 見込み	● 163,816	事後評価	○		
指標2	観光施設利用者数	人	庁内資料により、地区内の代表的な観光施設である高山社跡の利用者数を算出する。			1,783	H23	4,500	H29	モニタリング	36,400	H27	モニタリング	○		
										事後評価	確定 見込み	● 19,328	事後評価	○		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	庚申山総合公園拡張整備事業や施設整備事業等により、ふじの咲く丘とふじふれあい館の利用者数が特に増加し都市公園利用者数は全体的に増加傾向にあり、モニタリング時では目標値の96%、事後評価時には106%に達している。	特になし
指標2	高山社跡が富岡製糸場を中心とする世界遺産登録地の一部になり、直後は利用者の急増が見られたが、その後は観光客の落ち着きとともに約2万人で推移しており、事後評価時には目標達成率は430%に達している。	特になし
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・高山社跡が世界遺産登録されたことにより周辺地域を含めた広域的な観光振興に向けた取組が進められている。
- ・自転車を利用して高山社跡へ訪れる人が増加している。
- ・県立女子大生がFacebookで高山社跡の投稿をし、集客につながっている。
- ・市内の観光周遊を促進するため、ららん藤岡を中心にした周遊コースを8コース設定し、パンフレットを作成した。(藤岡の桜の名所をめぐる旅、ぐんま絹遺産をめぐる旅、鬼石めぐり旅、家族で満喫体験コース他)

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
担当者会議による中間評価	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 実施時期：平成28年度(2回実施) 会議出席：企画課、財政課、商工観光課、土木課、都市計画課(事務局)、文化財保護課	中間評価結果を基に都市再生整備計画の見直しを行い、引き続き事業を推進する。

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
高山社整備委員会からの意見聴取	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 実施時期：H25年度～平成30年度 高山社の周辺整備にあたり、地元の代表も加わっている高山社整備委員会から意見を伺い、整備内容に反映した。	都市再生整備計画事業以外で高山社周辺整備は残っており、引き続き協働を進めていく。
日本野鳥の会群馬県多野藤岡分会からの意見聴取	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 実施時期：平成27年度～平成28年度 野鳥の宝庫として有名であり、バードウォッチャーの来訪が多い庚申山総合公園拡張整備事業にあたり、日本野鳥の会から意見を伺い、整備内容に反映した。	今後も適切な維持管理を行い、引き続き協働を進めていく。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
高山社顕彰会によるまちづくり活動への取り組み	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 高山社跡をPRするため、道の駅ららん藤岡でのパネル展や勉強会の開催、会報作成等の活動を行った。(平成27年度～平成30年度)	組織名：高山社顕彰会 概要：会員数320名。高山社跡の歴史的価値の顕彰をさらに深め、郷土愛の育成と地元の発展を目指す団体。	活動が活発になってきていることから、引き続き、活動支援を行っていく。
高山社跡地地元協力会による清掃活動の実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 高山社周辺の環境維持、保全のため、地元組織が定期的な除草や清掃活動を行った。(平成26年度～平成30年度)	組織名：高山社跡地地元協力会 概要：会員数37名。高山社跡の来訪への対応や周辺環境の整備等について、藤岡市をはじめ関係機関・団体と協力して活動する。	世界遺産周辺の環境を守るため、継続的な活動への取り組みを推進する。
大学との連携によるボランティア養成事業	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 群馬県下の大学の講座を利用したボランティアの養成を行った。(平成26年度～平成28年度)	大学名：群馬医療福祉大学 概要：平日休日問わず学生の希望日に実施し、参加者は延べ230名。	県内の大学への働きかけを通じた学生ボランティアの募集を継続的にやっていく。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内担当者会議	企画課、財政課、商工観光課、土木課、文化財保護課	平成30年8月2日、10月4日	藤岡市都市建設部都市施設課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2	
指 標 名		都市公園利用者数		観光施設利用者数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路：市道鬼石2128号線舗装改修事業	○	[庚申山総合公園] 庚申山総合公園拡張整備では公園内に新たに広場や園路、藤棚等が整備されたことで、多世代に対して魅力の向上が図られ、交流拠点として利用者増加へ直接的な貢献を果たした。 [藤岡総合運動公園] 老朽化設備の更新が図られ、他地域からの利用者増加へ直接的な貢献を果たした。 [その他] 市道整備や観光ガイドマップ作成は、来訪者のアクセス向上、情報提供に寄与し、指標改善に間接的に貢献した。 一方、サイクリングロードは事業は完了したものの、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。	○	[高山社跡周辺] 高山社跡の世界遺産登録を契機として今回の周辺環境整備やボランティア育成、市道8048号線が観光施設利用者数の大幅増に直接的に貢献を果たした。 市道鬼石2128号線整備は部分的に来訪者のアクセス性向上、観光ガイドマップでは高山社跡を紹介し、指標の改善に間接的に貢献した。 [その他] サイクリングロードは事業完了し高山社跡を訪れるサイクリストの増加は感じられているが、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。
	道路：市道8048号線道路改良事業	—		◎	
	公園：庚申山総合公園拡張整備事業	◎		—	
	公園：仮称：高山公園整備事業	—		◎	
	高次都市施設：高山社跡周辺整備事業	—		◎	
提案事業	地域創造支援事業：庚申山総合公園施設整備事業	◎	[その他] 市道整備や観光ガイドマップ作成は、来訪者のアクセス向上、情報提供に寄与し、指標改善に間接的に貢献した。 一方、サイクリングロードは事業は完了したものの、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。	—	[その他] サイクリングロードは事業完了し高山社跡を訪れるサイクリストの増加は感じられているが、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。
	地域創造支援事業：藤岡総合運動公園施設整備事業	◎		—	
	地域創造支援事業：サイクリングロード整備事業	△		△	
	まちづくり活動推進事業：地元ボランティア育成事業	—		◎	
関連事業	観光ガイドマップ作成	○	[その他] 市道整備や観光ガイドマップ作成は、来訪者のアクセス向上、情報提供に寄与し、指標改善に間接的に貢献した。 一方、サイクリングロードは事業は完了したものの、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。	○	[その他] サイクリングロードは事業完了し高山社跡を訪れるサイクリストの増加は感じられているが、今後の活用に向けたソフト施策の展開が求められる。

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	[庚申山総合公園] 通年の観光・健康・交流の拠点性強化を目指し、ふじまつりやふじふれあい館といった既存のイベント・施設の魅力向上・集客向上を図っていく。また、パークガイドの作成やデジタルサイネージ、メディアを活用した都市公園のPRに努めていく。 [藤岡総合運動公園] 市外からの利用者数の更なる増加を目指し、各種スポーツ団体の利用拡大、PR、市民との交流促進に努める。 [その他] レクリエーションや健康増進による更なる交流人口拡大に向けて、サイクリングロードを活かしたイベントの開催、自転車を活用したまちづくりの展開などを図っていく。	[高山社跡周辺] 引き続き県による電線類地中化事業や文化財の復元作業などを推進し、歴史的景観に配慮した環境整備に努める。また、利用者の維持、リピーターの確保に向けて高山社跡が持つ多様な価値（人材育成、産業振興への寄与など）を知ってもらうため、多種多様な人々の協働による地域の魅力向上に努める。 さらに来年富岡市にオープンする世界遺産センターなどと連携し、広域的な観光振興に向けた取組強化に努めていく。 また、外国人観光客対策として、観光地に向かう道案内や公共交通、解説ボランティアの多言語対応を検討する。 [その他] サイクリングロードを活用したルート設定を検討し、自転車を利用した市内観光地の周遊促進に努める。
-------	---	--

添付様式4ー③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別													
指 標 名													
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業	道路：市道鬼石2128号線舗装改良事業												
	道路：市道8048号線道路改良事業												
	公園：庚申山総合公園拡張整備事業												
	公園：仮称：高山公園整備事業												
	高次都市施設：高山社跡周辺整備事業												
提案事業	地域創造支援事業：庚申山総合公園施設整備事業												
	地域創造支援事業：藤岡総合運動公園施設整備事業												
	地域創造支援事業：サイクリングロード整備事業												
	まちづくり活動推進事業：地元ボランティア育成事業												
関連事業	観光ガイドマップ作成												

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内担当者会議	企画課、財政課、商工観光課、土木課、文化財保護課	平成30年8月2日、10月4日	藤岡市都市建設部都市施設課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
○公園の活用と規模拡充・施設充実 本市の基幹的な健康づくり、交流の場である総合公園や運動公園が存在しているが、本市の緑およびレクリエーション、健康増進の拠点として更なる活用が課題として挙げられるとともに、施設の老朽化やレクリエーション環境が劣化しており、これらの施設の規模拡充や施設充実が重要な課題となっている。	・都市公園の規模拡充や老朽施設更新・充実が図られ、公園利用者数の増加につながった。	・本事業で整備を行ったサイクリングロードを活用したサイクリングルート設定やイベント開催などPRを図ることが求められる。	・今後は、都市公園内の既存施設の更なる利用拡大に向けた取組みが求められる。
○拠点間のネットワークによる観光振興 高山社跡周辺と、市道鬼石2128号線沿線の八塩アジサイの里や桜山温泉センター等地区に点在する観光資源と緑を生かしたレクリエーション拠点を繋げるにより、地域の文化遺産を活用した観光振興が課題であり、生活道路の整備と併せて、バイパス的な機能を有する観光バス等の通行に耐える道路整備が必要である。	・高山社跡が世界遺産登録されたことや周辺環境整備による観光拠点強化や市道整備による交通アクセスの向上が図られ、観光客数の大幅な増加につながった。	・高山社跡以外の市内の地域資源や、拠点間のネットワーク強化による周遊型観光の振興が求められる。	・富岡市にオープンする世界遺産センターや北埼玉地域との連携など、広域的な観光振興に向けた取組強化が求められる。 ・外国人観光客対策として、道路・公共交通の案内の充実、解説ボランティアの多言語対応などが求められる。
○観光利用促進 円滑かつ広域的な観光利用を促進するため、観光ガイドマップ等の作成・地元ボランティアの育成を図る必要がある。	・高山社顕彰会や群馬医療福祉大学との連携によるボランティア育成など、地域の主体的な活動展開が図られ、観光振興への取組が実現した。 ・観光ガイドマップが好評であり、当初予定を超える部数を増刷し配布を行った。	・高山社跡の解説及び周辺清掃等のボランティアの高齢化への対策が求められる。	・高山社跡がもつ本質的な価値のほか、市内に点在する歴史的・文化的な資源を掘り起こし、地域の更なる魅力向上やシンビックプライドの醸成を図っていくことが求められる。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	都市公園利用者数の維持・拡大	都市公園等を活用した通年の観光・健康・交流イベントの開催を検討する。	・ふじまつりの継続・更なる集客向上 ・ふじふれあい館等を活用した市民活動の利用拡大 ・市民球場での市外からの利用促進と地元住民との交流 ・庚申山総合公園等での健康づくりとしての拠点性強化
	観光施設利用者数の維持・拡大	高山社跡の復元作業や歴史的景観に配慮した環境整備を引き続き行う。	・高山社修復工事の継続・公開・作業体験 ・高山社跡周辺重点景観計画区域での竹林整備
	地域主体におけるボランティア活動や情報発信の持続	解説ボランティアの活動や、観光ガイドマップの配布を継続する。	・地元ボランティアの活動支援 ・観光ガイドマップの更新 ・デジタルサイネージを利用した観光情報の発信

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	サイクリングロードを活用したルート設定、イベント開催	サイクルイベントの開催、既存イベントとの連携を行う。	・チャレンジサイクリングフェスタとの連携 ・県のサイクリングマップへの記載による認知度の向上
	都市公園の案内・PRの充実	施設整備が図られた都市公園内の案内・PRを促進する。	・パークガイドの作成・配布 ・ふじおかマップ・デジタルサイネージ等を利用した都市公園のPR
	市内の地域資源を活用した周遊型観光及び市内も含めた広域的な観光振興の強化	市内の拠点間ネットワークの強化及び、市外施設との連携による周遊型観光の推進を検討する。	・レンタサイクル導入による市内の周遊促進 ・付加価値のある周遊ルートの企画 ・周辺施設・コンテンツと連携した観光ネットワーク形成 ・高山社跡解説ボランティア・アクセス情報の多言語対応
	解説ボランティアの高齢化対策	学生や地元住民との連携による活動支援を行う。	・地元の大学と連携したボランティア育成支援 ・地元住民のボランティア参加促進
	地域主体による地元の更なる魅力創出	高山社跡を中心とした地域資源を活用し、行政・民間・住民・学生等の多様な世代の連携により地元の更なる魅力向上をはかる。	・地域に関わる多様な人々の協働による地域の魅力向上 ・市内の歴史的・文化的資源を活用した体験プログラムによる郷土愛・関心の醸成 ・高山社についての調査を行うことによる更なる魅力発掘 ・絹文化・養蚕文化の継承活動

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

☐	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
☐	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
☐	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
☐	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
☐	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

テレビ等メディアを活用した情報発信

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度		年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	都市公園利用者数	人	141,524	H23	154,100	H29	確定 ●	163,816	○	あり			
							見込み			なし			
指標2	観光施設利用者数	人	1,783	H23	4,500	H29	確定 ●	19,328	○	あり			
							見込み			なし			
指標3				H		H	確定			あり			
							見込み			なし			
指標4				H		H	確定			あり			
							見込み			なし			
指標5				H		H	確定			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標1				H			確定						
							見込み						
その他の数値指標2				H			確定						
							見込み						
その他の数値指標3				H			確定						
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	指標1の都市公園利用者数、指標2の観光施設利用者数共にわかりやすい指標であり、関係施設からの情報の公開により、円滑に作業できた点。	毎年データが数値として算出できる指標を設定することが望ましい。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		都市再生整備計画の策定時に事後評価の実施を考慮して指標を設定する必要がある。
	うまく いかなかった点	サイクリングロード整備事業に関して、指標との整合性が取れていない部分があった点。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	全ての事業実施箇所に直接向かうことで、現状を把握し、利用者や施設の方の声を聞くことができた点。	事業の実施効果を確認すること、利用者の声を反映することは、今後のまちづくりににおいて有効であるとする。
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

南部地区では次期計画は想定していない。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	藤岡市ホームページへの掲載	平成30年12月7日(金)～21日(金)	同左	担当課への郵送、ファックス、電子メール、直接持参	都市施設課
広報掲載・回覧・個別配布	広報ふじおかへの掲載	平成30年12月1日発行 広報12月1日号	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市施設課窓口での閲覧	平成30年12月7日(金)～21日(金)	同左		

住民の意見	特になし
-------	------

(6) 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	高橋勉(弁護士)、矢島諭(藤岡商工会議所会頭) 浦部正義(多野藤岡農業協同組合理事長)、塚本敏博(建築士会 藤岡支部)、長島秀憲(元県職員) ※欠席:浦部隆氏(藤岡市農業委員会会長)	平成31年2月22日	藤岡市 都市建設部 都市施設課	既存機関を活用(都市計 画審議会)	既存組織(都市計画審議 会)そのものを位置付けた
その他の委員	藤岡市議会議員:5名 藤岡市民:6名 関係行政機関の職員:3名				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手 続き等にか かる審議	方法書	意見なし
	成果の評価	・指標2の観光施設利用者数の目標値が低いのではないかと意見があった。当初この計画を策定する際に、他の世界遺産登録地の事例として、島根県の石見銀山が世界遺産登録されてからの経過を参考にしたためだと答弁した。
	実施過程の評価	意見なし
	効果発現要因の整理	・庚申山総合公園拡張整備事業で、園路の整備や藤棚の設置を行ったのはありがたいが、可能な限り市の資源を保全してほしいという意見があった。整備の際には雑木林を伐採する前に日本野鳥の会の方と相談し、野鳥の生態に影響がない箇所を伐採するようにしたり、ウォーキングをしている方の意見を基に高木を伐採したりしたと答弁した。 ・高山社跡は全体的によく整備されていると意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当であると確認された
	その他	意見なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当であると確認された
今後のまち づくりにつ いて審議	今後のまちづくり方策の作成	・庚申山総合公園拡張整備事業において、イベント等を踏まえた整備をしてほしいとの意見があった。庚申山総合公園は「花と緑のぐんまづくり」の会場であり、今後はハード面として維持管理をしつつ、ソフト面の方策として様々なイベントや企画を行う方針であると答弁した。 ・庚申山総合公園の駐車場整備や、ふじふれあい館職員による健康遊具の使用方法についての指導等、市民の施設利用のしやすさの向上を図ってほしいという意見があった。庚申山総合公園では2019年の花と緑のぐんまづくりイベントの中で、健康や花に関する教室の開催、ウォーキングを主体としたコース設定等を行い、利用促進に努めていくと答弁した。 ・高山社跡の整備では、莫大な費用を投じて整備を行ったが、世界遺産登録から時間が経つにつれ利用者が減少している。関係部署との連携によるイベントの企画や、高山社跡周辺で飲食ができるような物産館や公共施設の整備等、また来たいと思わせる仕組みづくりが必要だという意見があった。利用者が減少していることに関しては危機感を感じているが、高山社の卒業生の全国での活躍や絹文化の継承活動をクローズアップしたり、高山社単体で人を呼び込むことが難しければ、鬼石の八塩温泉郷と連携したりして集客することを検討する。更には今後大々的に取り組む「花と緑のぐんまづくり」において、地域の魅力を前面に推し出した事業を行うと答弁した。 ・観光ガイドマップについて、色合いがわかりづらいという意見があった。頂いた意見を参考に今後の事業に役立てると答弁した。
	フォローアップ	意見なし
	その他	意見なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であると確認された
その他		意見なし

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、都市再生整備計画事後評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第4回変更)

ふじおかなんぶ
藤岡南部地区

ぐんま 群馬県 ふじおか 藤岡市

平成29年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	藤岡市	地区名	藤岡南部地区	面積	950 ha
計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度				

目標

- 大目標：人が集うまちづくり
- ①緑を活かしたレクリエーションや健康増進による交流拠点まちづくりの推進
 - ②地域に根差した魅力的な観光地の創出によるまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■まちづくりの経緯

本市は群馬県の南西部に位置し、東は埼玉県上里町・神川町、西は高崎市・甘楽町・下仁田町、南は神流町・埼玉県秩父市、北は高崎市・玉村町と境界を接している。市内では昭和40年頃から輸送機器、電気機器などを中心とする企業の進出が進むとともに、周辺市町村から人口の流入が進むなど着実な発展を遂げた。その後、関越自動車道や上信越自動車道など国土軸の根幹をなす高速交通網の整備により、広域的な交通利便性が飛躍的に向上し、群馬県の表玄関として、また、交通の拠点として北関東の重要なポイントになっている。さらに、平成18年1月に旧鬼石町を編入して現在に至っている。市の花「ふじ」と国指定の名勝及び天然記念物の「冬桜」をテーマに、「市民が創り輝くやさしい藤岡～藤と冬桜が織りなす幸せ実感のまちづくり～」に取り組んでいる。

■現況

本地区は、藤岡市の中心市街地に隣接した南部地域で、藤岡都市計画区域および鬼石都市計画区域となっている。藤岡都市計画区域は、本郷地区に住宅地が、牛田地区に工業地が形成され、その他の地域では、集落地と農地による田園環境が形成されている。また、鬼石都市計画区域は、神流川と山地に挟まれた土地で、国道462号及び主要地方道前橋長瀬線の沿道に古くから発展してきた街並みが形成されている。

本地区には、藤岡市のシンボルであるふじの咲く丘や庚申山総合公園及び藤岡総合運動公園などの都市公園や複数の温泉施設など豊富な緑地及び観光資源を有し、市民の健康増進や憩いの場として四季を通じて多くの人々に利用されている。また、現在、富岡製糸場を中心とする文化遺産群の世界遺産登録されている高山社跡や、市道鬼石2128号線沿線の八塩アジサイの里や桜山温泉センター等がある。さらに、藤岡市のシンボルの一つである「冬桜」が生育する桜山公園へのアクセス拠点ともなっている。

人口は市内の他地域同様減少傾向にあるが、市域人口の約15%弱を占めている。アンケート調査によれば、「居住環境の満足度」は、「路線バス」「鉄道交通」「下水道」について低く、「生活基盤に関する優先施策」については、「生活道路・幹線道路の整備」を望む意見の割合が高くなっている。

課題

- ・さらなる高齢化社会においては、地域とかかわりを持ちながら、生涯、健康で過ごすことが重要なニーズとなっている。本地区には、本市の基幹的な健康づくり、交流の場である総合公園や運動公園が存在しているが、本市の緑およびレクリエーション、健康増進の拠点として更なる活用が課題として挙げられるとともに、施設の老朽化やレクリエーション環境が劣化しており、これらの施設の規模拡充や施設充実が重要な課題となっている。
- ・高山社跡周辺と、市道鬼石2128号線沿線の八塩アジサイの里や桜山温泉センター等、地区に点在する観光資源と緑を生かしたレクリエーション拠点をネットワークさせ、地域の文化遺産を活用した観光振興が課題であり、生活道路の整備と併せて、バイパス的な機能を有する観光バス等の通行に耐える道路整備が必要である。
- ・円滑かつ広域的な観光利用を促進するため、観光ガイドマップ等の作成・地元ボランティアの育成を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

■第4次藤岡市総合計画

- ・6つの基本施策の一つとして「賑わうふじおか」を掲げ、その中の項目の一つに「人が集うまちをつくる」が示され、○観光資源の開発整備、○協働によるまちづくりの推進などがうたわれている。
- ・総合計画では、戦略プロジェクトを4項目定め、そのうちのの一つとして、「健康」をテーマに、市民自ら行う健康づくりを支援する「ふじおか健康増進構想」を掲げ、○スポーツ施設の活用、○健康づくり・レクリエーションの普及などをうたっている。

■都市計画マスタープラン

- ＜南部地域＞①新しい産業活動の基盤づくり ②緑を活かしたレクリエーション拠点づくり ③居住と営農が調和した環境づくり ④誰もが使いやすい公共交通のシステムづくり
- ＜鬼石地域＞①利便性の高いコンパクトなまちづくり ②働く人が移り住む住宅地づくり ③観光客を呼びこむ魅力づくり

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
都市公園利用者数	人/年	南部地区の主要な都市公園の年間利用者数	緑を活かしたレクリエーションや健康増進の拠点設備による交流人口の増大を見込む。	141,524	平成23年度	154,100	平成29年度
観光施設利用者数	人/年	高山社跡地や観光施設の利用者数	観光交流促進に係る整備による交流人口の増加を見込む。	1,783	平成23年度	4,500	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
■整備方針1 緑を活かしたレクリエーションや健康増進による交流拠点まちづくりの推進 ・南部地域の豊富な緑地及び観光資源を活かし、市民の憩いの場として、また交流観光の場として大規模な公園や観光資源をレクリエーション拠点として交流人口の拡大に向けた整備を図る。 ・本市のスポーツ施設は、県内では降雪が少ないことも相まって、上越市など他地域との交流利用の拠点となっていることから、老朽化施設の再整備を行い、利用環境の向上を図り、拠点性機能の強化を行う。 ・健康増進を促進するための拠点的なスポーツ施設として、夜間でも安心して利用可能な施設の整備を行う。 ・ふじの咲く丘は本市のシンボリックな施設の一つであり、ふじ祭りなど多くの人が市域外からも訪れ、交流拠点となっていることから、庚申山総合公園の拡張を行い一体的な利用促進を図る。 ■整備方針2 地域に根差した魅力的な観光地の創出によるまちづくりの推進 ・南部地域の豊富な観光資源を活用し、魅力ある観光を確立するため、周遊ルートの整備とソフト事業を積極的に展開し(通年滞在型)観光地づくりを行う。 ・世界遺産登録されている「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する「高山社」は南部地域だけでなく、本市の主要な文化財・観光資源であり、本市のもう一つのシンボルである鬼石地区の「冬桜」との観光流動(観光バスおよび乗用車)の発生が想定されることから、それに対応したアクセスルート、周遊ルートの整備、案内標識整備等を進める。 ・健康増進や観光利用ネットワークの一環として、神流川左岸のサイクリングロードを藤岡総合運動公園まで延伸する。	・庚申山総合公園拡張整備事業(基幹事業) (3.0ha、フジのシンボルイメージ強化のための藤棚・園路・植栽など) ・庚申山総合公園施設整備事業(提案事業) (散策路、駐車場など) ・藤岡総合運動公園施設整備事業(提案事業) (市民球場スコアボード改修) ・仮称・高山公園整備事業(基幹事業) (遊歩道IL≒300m・広場A≒1.3ha) ・市道鬼石2128号線舗装改良事業(基幹事業) (L≒4.3km) ・市道8048号線道路改良事業(基幹事業) (L≒0.03km) ・高山社跡周辺整備事業(基幹事業) (体験学習施設1棟・トイレ1棟・駐車場等) ・サイクリングロード整備事業(提案事業) (L≒700m) ・地元ボランティア育成事業(提案事業) (解説ボランティアへの報酬) ・観光ガイドマップ作成(関連事業) (30,000枚)
その他	

交付対象事業費	846	交付限度額	338.4	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		市道鬼石2128号線舗装改良事業	藤岡市	直	L=4.3km	25	29	25	29	154	154	154	0	154	
道路		市道8048号線道路改良事業	藤岡市	直	L=0.03km	26	29	26	29	95	95	95	0	95	
公園		庚申山総合公園拡張整備事業	藤岡市	直	A=3.0ha	25	29	25	29	196	196	196	0	196	
公園		仮称：高山公園整備事業	藤岡市	直	A=1.3ha	26	27	26	27	110	110	110	0	110	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設															
高次都市施設		高山社跡周辺整備事業	藤岡市	直	A=0.2ha	25	27	25	27	111	111	111	0	111	
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
拠点開発型															
住宅市街地		沿道等整備型													
総合整備		密集住宅市街地整備型													
事業		耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										666	666	666	0	666	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	庚申山総合公園施設整備事業	庚申山総合公園	藤岡市	直	A=40.5ha	26	28	26	28	12	12	12	0	12
	藤岡総合公園施設整備事業	藤岡総合運動公園	藤岡市	直	1箇所	25	26	25	26	88	88	88	0	88
	サイクリングロード整備事業		藤岡市	直	L=700m	25	29	25	29	77	77	77	0	77
事業活用調 査														
まちづくり活 動推進事業	地元ボランティア育成事業		藤岡市	直		25	27	25	27	3	3	3	0	3
合計										180	180	180	0	180
													合計(A+B)	846

[illegible]